自治体主導のゾーニング及び発電事業者公募で、 太陽光発電設備導入による農業振興を図る

宮城県 七ヶ宿町 〈基本計画作成日: 平成27年5月22日〉

再エネ発電事業概要

事業実施主体:合同会社クリスタル・クリア・エナジー

(シャープ(株)とリース会社との合同出資会社)

・発 電 設 備:太陽光発電

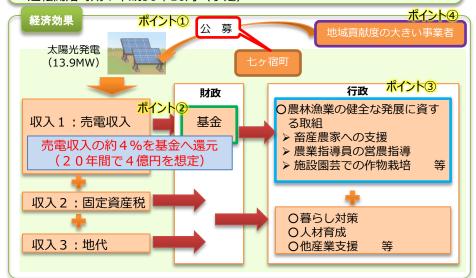
発電出力 13.9MW

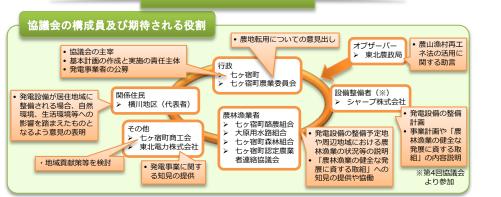
設備整備区域面積 38.2ha (農地転用面積を含む)

設 費:39.2億円 • 建

・設備整備計画:平成28年3月31日認定

・運転開始時期:平成30年10月(予定)





取り組むに当たっての工夫

ポイント① _

地域貢献に意欲的な事業者を探す工夫

・七ヶ宿町での太陽光発電事業に関心を示している発電事業者が複数いたた め、公募を行い、地域還元のアイディアを競わせることで、より地域貢献 度の大きい事業者を選定することができた。また、事業者を公募すること で、業者選定の内容や理由が明らかとなり、地域関係者の理解も得やすく

農林漁業の発展のための財源を

確保する工夫

基金創設で農林漁業の発展の ための財源を確保できた。

首長の声:基金のおかげで行政 サービスの充実ができる。

首長の声:基金による新規就農支援で 長期間の若者雇用対策が可能となり 定住につながる。

ポイント③

今後の農業に対する取組を充実

・今回の太陽光発電事業により、畜産施設がなくなることに伴い、基金を畜 産振興のために活用するとともに、ほ場整備や施設園芸への支援等、農業 への支援策を充実させる予定。

ポイント④

発電事業者への安心感を付与する工夫

- 町が主導して、あらかじめ地域関係者から再工ネ導入についての合意が得 られた地域を設備整備区域として設定することにより、円滑な事業実施が できる。
- ・町に選ばれたことで、事業実施の信頼性を向上させるとともに、地域関係 者との協議を円滑に進みやすくさせる。

市町村の取組の経緯

- ・平成26年9月 町営牧場の近年の牧場経営の実情や荒廃状況を整理し、牧場利用者 である町内畜産農家の意向を踏まえ太陽光発電設備を整備することと し、協議会を設置。
- ・平成27年3月 町が協議会の協議を経て決定した応募要領(場所と目的を規定)を 示し、太陽光発電事業者を公募。
- ・平成27年3月 地域貢献度が最も大きい事業の企画を提案した事業者を選定。
- ・平成27年5月 採択事業者が協議会に加わり、基本計画案を協議した上で、基本計 画を策定・公表。

今後の取組・戦略

- 林業振興のため、木質バイオマスの熱利用を導入し、町内の入浴施設や施設園芸 で利用することを検討。
- 自然を有効活用してエネルギーを作り、その売電収入の一部を町の施策に活用し ているということをPRし、町のイメージアップ。